

2021 年度 しあわせ研究

自殺予防のためのゲートキーパー
オンデマンド講座の開発

研究員 小高真美、高井美智子

勝又陽太郎、竹島正



2021 年度しあわせ研究費により、「自殺予防ゲートキーパー養成のためのオンデマンド研修資料開発とその実施可能性および効果の予備的検証」研究に取り組みました。

自殺予防のためのゲートキーパー(以下、GK)とは、身近で悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴き、必要に応じて専門機関等につなぎ、継続的に見守る人のことをいいます。国は「誰でもゲートキーパー」と謳っています。つまり、“専門家”だけではなく、私たち一人ひとりが日常生活の中で、GK としての役割を担うことが期待されているのです。

GK に求められる知識やスキルの向上を目指して、自治体を中心にこれまで数多くの GK 養成研修が実施されてきました。しかし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、対面での研修実施からオンラインやオンデマンドでの実施に切り替える自治体が見受けられるようになりました。特にオンデマンドによる研修動画等の配信は、時間や場所を問わず繰り返し学習することができるため、コロナ禍に関わら

ず、有益な学習ツールであるといえるでしょう。

一方、これまでに全国で展開されてきた GK 養成研修は、その内容や実施形態などにばらつきがあることが課題とされており、私たちは研修の標準化を試みてきました。オンデマンドによる研修についても同様に、標準化された研修プログラムが求められますが、その試みは未着手であったため、本研究に取り組むことといたしました。

私たちが過去に実施した研究知見を基に、今回の研修内容を検討し、「自殺予防のためのゲートキーパーオンデマンド講座」を開発いたしました。研修は動画で、誰もが気軽に視聴できるように、長さは 30 分程度にしました。前半 20 分で GK に最低限求められる知識とスキルを学習します。後半 10 分では、前半で学んだスキルについて、「対応の実際」を通して確認します。開発した研修動画は、全国自治体や各種団体等に普及し、活用を呼びかけていく予定です。

私たちひとり一人がお互いのゲートキーパーになることで、私たちひとり一人のしあわせがカタチとなることでしょう。

本研究の取り組みは、本学 SDG s 取り組みウェブサイトにも掲載されておりますので、ぜひそちらもご覧ください。

<https://sdgs.musashino-u.ac.jp/product/20220219/>